

## 絵本と音楽の絶妙なコラボレーション

2月24日(日) あらかわ地区公民館



「絵本と音楽の～もに～」が開催され、親子連れなど約70人の参加者が、フルートやピアノの優雅な音色に合わせた絵本の世界を満喫しました。

ました。

このイベントを企画した「夢絵本☆野いちご」代表の小川路子さんは、「子どもたちに絵本に親しんでもらおうと活動を始めて7年。ようやく自分たちの活動が地域に根付いてきた。今後も活動を継続していきたい」と語ってくれました。

## 子どもたちもそば打ちを体験！宿田集落そば祭り

2月24日(日) 宿田集落



そば祭りは、集落の菅原神社に由来し、昔から菅原道真公の命日(2月25日)に道真公が好物だったという、そばを各家庭で振る舞う習わしでした。現在でも地域の人が集落センターに集まり、地元産のそば粉を使って、そば打ちから麺切りまでを体験しています。

この日、子どもたちも集落の「先生」に教えてもらいながら、慣れない手つきでそばと格闘していました。出来上がったそばは、地域のみんで試食。地域の絆と笑顔あふれる行事でした。

## 卒業しても私たちが忘れないでね

2月28日(木) 猿沢小学校



恒例の「六年生を送る会」が行なわれ、これまでお世話になった6年生へ、在校生が感謝の気持ちをこめて演劇や合奏を披露。先生たちの

合唱も加わり、素晴らしい会になりました。

最後は観覧に来ていた保護者も参加してアーチをつくり、温かい拍手とかけ声で、6年生を送り出しました。

# むらかみの話題

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。

## 地域の宝を地域のみんで

2月23日(土) 山北中学校区郷育会議



地域のみんなで子どもたちを育む事を目的に「ち地育を考える会」が開催されました。山北地区では、学校支援ボランティアを中心に地域と学校の協働による取り組みを活発に行っています。

会場には、この取り組みを紹介するパネルも展示。新潟青陵大学の仲真人先生による講演と地域の現状を踏まえたフリートークで、参加者は、地域の宝である子どもたちを育む取り組みに理解を深めていました。



2月24日(日) 総合文化会館  
科学館が朝日地区にやって来た

県立自然科学館では、毎年この時期に、多くの人に科学に親しんでもらおうと、移動科学館を開催しています。今回、総合文化会館を会場に、日常では体験できない空気力や重さなどの実験を行いました。また、はがき一枚ほどの大きさの紙にはさみで切り込みをいれると、人がぐくられるほどの輪に変形する「魔法の輪」の実験では、参加者を驚かせていました。

## ふるさとの炭焼き技術を伝えたい

3月2日(土) 里本庄集落



集落に現存する炭焼き窯。近年は、あまり使う人もなく、炭の焼き方を知っている人も少なくなってきました。

活動を進めてきました。

この日は、初めての窯出しでしたが、なかなか良い炭が出来たようで、炭で真っ黒になりながらも笑顔で作業をしていました。

## 冬でもまつりはいいもんだ

3月2日(土) 村上地域まちづくり協議会



市郷土資料館で、これまで2か月間練習した「お祭り体験講座」のお披露目を開催。荒天の中、来館した約100人の皆さんがひとときのお祭り気分を満喫しました。

この講座は、地域の小学生を対象に開催してきたもので、当日は、動くおしゃぎりに初めて乗って演奏。戸惑いながらも成果が発揮できたようでした。同協議会では、次年度も継続し、取り組みたいと考えています。

## 雪山の秘宝を求め

3月2日(土)・3日(日) さんぽくごっつお物語り協議会



「雪山メープルシロップ物語」が1泊2日の日程で開催。初日にはメープルの原料を求め、「イタヤカエデ」が自生する大毎集落の山中にスノーモービルで駆け上がり、

樹液を採取。その後、同集落の「てまひま工房」で河面専一さんの指導を受けながらシロップづくりを体験し、夜は地域の皆さんと田舎料理で交流しました。

新潟市から参加した舟崎さんは「雪山での原料採取から体験した分、上乘せされた味がしますね」と地域の皆さんと歓談しながら笑顔で話してくれました。翌日は、笹団子づくりなども体験し、山里の魅力を堪能した2日間となりました。

## 私の、ぼくのおひな様、みつけた

3月12日(火) 第一保育園



年長組の園児たちは、自分たちが折った「おひな様」を飾った、まちなか循環バスの乗車体験を行いました。

参加した園児たちは、自分たちのおひな様を見て大喜び。年長組の小田 桜さんは、「うれしかった」と笑顔で話してくれました。

## 清流荒川サクラマス釣り解禁

3月16日(土) 荒川



今年もサクラマス釣りが解禁となり、多くの釣り人で賑わいを見せています。

記念すべき最初の1匹目を手にしたのは、新潟市在住の人。

「体長50cmと少し型は小さめですが、最高の気分」とご満悦の様子。

巻き上げる途中で竿が折れるというトラブルに見舞われたものの、素手で糸を手繰り寄せ、やっとの思いで手中に収めることができたそうです。「釣り人の執念、恐るべし。」

## 間伐材を活かした

「ベンチ・テーブル」「プランター枠」づくり

3月3日(日) 山辺里地区まちづくり協議会



住民の手で住みよい地域を創ろうと計画した「ベンチ・テーブル」「プランター枠」づくりに、子どもから大人まで約60人が参加。あらかじめ加工された杉の間伐材を使って組み立てました。

完成したベンチとテーブルは、旧山辺里小学校グラウンドなどに設置して「地域のふれあいの場」づくりに活かし、プランターは、山辺里小学校の児童が花を植え、小学校や山辺里保育園などの周辺の公共施設に設置して「花いっぱい運動」につなげます。